

世界医師会プレスリリース

2022年2月24日

世界の医師がウクライナにおけるロシアの軍事侵攻に深い懸念を示す

世界医師会は、ロシアの指導者によるウクライナでの前例のない軍事侵攻に深い懸念を示している。そこでは、ロシアの指導者たちに、ウクライナ国内における医師と看護師の業務、及び医療機関の中立性を尊重することを求めている。我々の思いはウクライナの同僚とともにあり、敵対行為の迅速な終結を訴えている。

世界医師会プレスリリース

2022年2月25日

ウクライナにおいて医療の中立性は監視されなければならない

世界医師会（WMA）と欧州医師常設委員会（CPME）は、ロシア連邦によって引き起こされたウクライナへの軍事侵攻に深い懸念を表明し、医療の中立性と人権が尊重されなければならないことを強調している。WMAのフランク・ウルリッヒ・モントゴメリー理事会議長は次のように述べている。「WMAは、ロシアの指導者によるウクライナでの前例のない軍事侵攻に遺憾の意を表明している。そこでは、ロシアの指導者たちに、ウクライナ国内の医師と看護師の業務と医療機関の中立性を尊重することを求めている。我々の思いはウクライナの同僚とともにあり、敵対行為の迅速な終結を訴えている。」

そして、ドネツク地域の病院への砲撃があったことを報告し、医療施設が軍事目標であってはならないこと、医師と医療従事者は職務の遂行を妨げられてはならないこと、そして、患者と負傷者に医療へのアクセスが確保されるためのあらゆる努力が払われる必要があることを強調した。

医師による患者への医療行為を阻止すること、または医療行為そのもので医師を処罰することは、ロシア連邦が遵守を約束した条約に定められている国際法に違反している。

欧州医師常設委員会のクリスチャン・カイザー会長は、次のように述べている。「我々は、医師や医療専門家が患者の生命を守るための医療行為の遂行を妨げる如何なる軍事侵攻も非難する。ヨーロッパの医師たちは、現在戦争の中心にあって医療に従事しているウクライナの同僚と連帯し、すべての軍事侵攻が迅速に終止符を打たれることを強く求めている。」